

村教育長に古清水氏新任

原村議会
臨時会

全会一致で人事案同意



古清水巖氏

原村は4日開いた村議会臨時会で、村教育長に原中学校前校長の古清水巖氏(60)＝富士見町富士見＝を任命する人事案を提出し、全会一致で同意を得た。古清水氏は新任。

取材に対し、「学校と地域が連携して子どもたちができることを考えていきたい」と述べた。任期は8月1日から3年。

古清水氏は教育長の打診について「率直に驚いたが、できることを一生懸命やりたさう」と、「教員生活38年間

のうち11年を過ごした原村で恩返しできれば」とも述べた。同町出身で県内各地で教壇に立ち、1992年から8年間は原中学校に教諭として、2020年から3年間は原中に校長として勤めた。今月31日までは富士見町教育委員兼子ども課で地域連携推進支援主事を務める。

村内で完結できず 非常に申し訳ない

村長

教育長の人事案を巡っては、6月13日の村議会6月定例会最終日に、1期目の清水幸次教育長(66)＝同村柏木＝を再任する人事案が賛成少数で不同意となった。主な理由

として教育行政の遅れた批判された。

不同意を受けて、五味武雄村長が後任探しに追われ、6月28日に開いた村議会全員協議会で古清水氏を任命する人事案を明らかにし、「教育の現場において数多くの経験を有し、人格は高潔で地域の人望も厚い」と説明。4日の臨時会後の取材に、五味村長は「村内だけで完結できず富士見町に迷惑をかけて非常に申し訳ない」と述べた。

閉会后、村議からは古清水氏について「教育の現場感覚があり、社会教育分野にも知見や経験がある」と期待する声や「安全で安心して子育てできる環境を整えてほしい」という要望が聞かれた。松下浩史議長は「今回の結果は住民にしっかりと説明する必要がある。コロナ禍で薄まっていた住民と議会、さらに村側と議会のコミュニケーションも密にしていきたい」と話した。

清水教育長は任期満了の7月22日に退任する。23～31日は村教育委員の五味正成氏が職務代理を務める。

(中村理沙)